

エンジニアがどのように世界をより良い場所にするために貢献しているかということを示すためEngineer の業績を祝い、将来世代のイノベータ達のために道筋をつけることを目的に、今年初めてGlobal Day of the Engineer が行われ、NSPE からJSPE に事前に協賛への誘いがあったこともあり、世界の技術者交流の観点からJSPE はpartner として参加し、Global Day of the Engineer 当日に活動を行いました。Global Day of the Engineer は、NSPE によって1951年に開始されたCelebration of ational Engineers Week をさらにグローバルに盛り上げるために、今年新たにその中の一日（2016年は、2月24日）を選び設定されたものです。現在Engineers Week を取り仕切っているDiscoverEは、エンジニアリングとテクノロジーを普及させるボランティア活動を支援するNPO 組織で、元の組織であるNational Engineers Week Foundation とベクトル、エクソンモービルなどの産業界のリーディング企業により1990年に発足しています。

前置きが長くなりましたが、このような背景を持つDiscoverE のイベントの意義を踏まえて、「福島第一事故経験を踏まえた新規制基準とPWR の事故対策強化内容」をテーマとしたエンジニアリングサロンを、Global Day of the Engineer の2月24日に開催しました。このテーマは一度1月20日に行ったものですが、会場の都合から参加できない方がおられたため、再度開催したものです。

当日はJSPE の溜池山王事務所に6名の方が集まり、PWR 型原子力発電所の安全対策について講師の山浦理事より説明が行われました。東日本大震災から5年が経ちましたが、原子力発電所の事故の原因や反省をトピックスに、エンジニアの役割、事故から学ぶべきところなど様々な議論 がなされました。エンジニアリングサロンは、講師の説明を受けてディスカッションを行う形式ですので、Global Day of he Engineer の主旨にも合致し、よい活動ができたと考えております。

今後とも、世界の技術者組織とも積極的に交流を深め、日本の技術者が少しでも活躍の場を広げられるようにしていきたいと考えています。DiscoverE の“Let’s Make a Difference”という標語の通り、Engineering の世界で、より良い方向に違いを作り出したいと思えます。

